

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	066	道路等の整備		
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		担当部署
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備	
めざす姿	都市の骨格となる都市計画道路や幹線道路網などが無電柱化及びバリアフリー化され、自動車・自転車・歩行者など、全ての人が安全で快適に移動することができるまちとなっています。また、自動車の走行における振動・騒音や雨水による道路の冠水が解消され、市民生活がより快適になっています。			

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	1,398,687,000	1,203,483,000	1,140,496,000			
国庫支出金	284,480,000	190,662,000	122,800,000			
都支出金	290,475,000	166,627,000	75,419,000			
市債	315,700,000	154,000,000	165,700,000			
その他	67,570,000	275,000	281,000,000			
一般財源	440,462,000	691,919,000	495,577,000			
予算現額	1,423,394,000	1,176,353,000	0			
決算額	1,404,817,392	1,094,658,557	0			
国庫支出金	300,155,000	196,489,000	0			
都支出金	309,593,110	157,599,000	0			
市債	287,700,000	98,000,000	0			
その他	73,842,252	162,000	0			
一般財源	433,527,030	642,408,557	0			
執行率	98.7	93.1	0.0			
(人件費)						
職員数	15.08	15.62	0.00			
職員人件費	115,825,531	122,729,141	0			
嘱託員数	1.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	3,120,400	0	0			
(間接経費)						
間接経費	4,561,758	4,595,894	0			
総コスト	1,528,325,081	1,221,983,592	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
都市計画道路の事業進捗率	87.4	実績	88.6	-	-	-	91.1
	%	達成率	97.3	0.0	0.0	0.0	
市内の狭あい道路の割合	10.4	実績	9.2	-	-	-	7.3
	%	達成率	79.3	-	-	-	
騒音や振動の防止に対する評価	19.4	実績	17.7	-	-	-	16.3
	%	達成率	92.1	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

都市計画道路の整備率については、平成29年度から変化はなかったが、事業中の都市計画道路整備を進めている。
市内の狭あい道路の割合は、平成29年度と比較して0.1ポイント減少している。
騒音・振動については、市政世論調査において「あまりよくない」、「非常に悪い」と感じている人の割合が平成29年度と比較して1.2ポイント増加したが、一方で「非常によい」、「まあよい」と感じている人の割合も2.5ポイント増加している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	道路改良工事、都市計画道路整備を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。			
達成できていない点	狭あい道路解消事業については、少しずつ推進しつつも目標達成に向けては遅れている。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

平成30年度は、都市計画道路の整備として、都市計画道路3・4・16号（一期区間）の電線共同溝整備及び街築工事を実施した。生活道路の整備として、改良に係る測量設計を行うとともに、中央道側道外5路線の改良及び桜通り外2路線の改修などを行った。また、美術館通りの未整備区間について地権者の一部と交渉が成立し用地買収を進めた。道路のバリアフリー化として、美好町通りのバリアフリー化整備及び東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたスタジアム通り外1路線の視覚障害者誘導用ブロック改良工事を実施した。電線類地中化事業として、新宿仲通りの電線共同溝の調査・設計を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた朝日町通り外3路線の電線共同溝整備を実施した。狭あい道路解消事業については、42路線、748.52mの狭あい道路拡幅整備を行った。また、北山町内の2路線で試行的に路線として狭あい道路解消をすべく、測量設計を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

都市計画道路の整備は、財政状況に応じ計画的に事業を推進していく必要がある。美術館通りは一部未整備区間の早期完成が求められている。狭あい道路については、試行的に実施した路線としての狭あい道路解消の課題であるセットバック部分に工作物等があり、早期に解消ができないなどの対応策を検討し、市内の狭あい道路の早期解消に向けた新たな施策を検討する。

今後の展開

都市計画道路の整備については、都市計画道路3・4・16号（一期区間）、（二期区間）及び3・4・11号の早期整備を目指す。生活道路の整備については、美術館通りの早期完成を目指すとともに、桜通り等改修計画に基づき、桜通り外2路線の桜の植替えと歩道の段差解消を進める。既存道路の改良整備、みちづくりバリアフリー化整備及び電線類地中化整備は、計画的に取り組んでいく。狭あい道路解消事業については、執行可能な財政計画のもと計画的に進めていく。また、新たな施策のなかで、路線として道路拡幅事業を推進していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
道路新設・拡幅改修整備事業	府3・4・11号：用地取得、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地測量、ほか	府3・4・11号：用地取得、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、多摩川通り：道路築造工事、市道2-127号：用地取得、ほか	府3・4・11号：用地取得、実施設計、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、実施設計、多摩川通り：道路築造工事、市道2-127号：用地取得、実施設計、ほか	府3・4・11号：電線共同溝工事、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：電線共同溝工事、市道2-127号：道路築造工事、ほか
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 土木課	府3・4・11号：用地取得、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地測量、ほかを実施した。			
事業種別	府3・4・11号：用地取得、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地測量、ほかを実施した。			
主要な事務事業	府3・4・11号：用地取得、府3・4・16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3・4・16号（二期区間）：用地取得、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地測量、ほかを実施した。			
4か年事業費計(単位:千円)	0			
狭あい道路解消事業	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払 ・後退用地の土地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払 ・後退用地の土地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払 ・後退用地の土地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地へのL型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払 ・後退用地の土地の分筆、所有権移転登記 ・後退用地へのL型側溝整備
【進捗状況】	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 建築指導課	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。			
事業種別	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。			
主要な事務事業	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。			
4か年事業費計(単位:千円)	0			
既設道路改良整備事業	・橋梁補修設計委託 ・多摩川通り詳細設計委託 ・府中駅北側ベデストリアンデッキ改修工事 ・学園通り歩道改修工事 ・中央道側道改良工事 ・芝間通り改良工事 ・若松町4,5丁目道路整備工事 ・多摩川通り改良工事	・橋梁補修設計委託 ・第六小学校前歩道橋歩道橋補修工事 ・中央道側道改良工事 ・しみず下通り改良工事 ・いちょう通り改良工事 ・多摩川通り改良工事 ・学園通り改良工事 ・浅間山通り改良工事 ・府中スカイナード歩道橋改修工事ほか	・市道各路線の改良工事	・市道各路線の改良工事
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 土木課	・橋梁補修設計委託 ・多摩川通り詳細設計委託 ・府中駅北側ベデストリアンデッキ改修工事 ・学園通り歩道改修工事 ・中央道側道改良工事 ・芝間通り改良工事 ・若松町4,5丁目道路整備工事 ほかを実施した。			
事業種別	・橋梁補修設計委託 ・多摩川通り詳細設計委託 ・府中駅北側ベデストリアンデッキ改修工事 ・学園通り歩道改修工事 ・中央道側道改良工事 ・芝間通り改良工事 ・若松町4,5丁目道路整備工事 ほかを実施した。			
主要な事務事業	・橋梁補修設計委託 ・多摩川通り詳細設計委託 ・府中駅北側ベデストリアンデッキ改修工事 ・学園通り歩道改修工事 ・中央道側道改良工事 ・芝間通り改良工事 ・若松町4,5丁目道路整備工事 ほかを実施した。			
4か年事業費計(単位:千円)	0			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 バリアフリー化推進事業	30		78,400,000	79,727,760	0	高齢者、障害者等を含めた全ての道路利用者が安全で快適に通行できる道路整備	B	1
2 桜通り改修事業	30		0	0	0	桜通り等のバリアフリー化に配慮した整備	B	1
3 道路関係広域連携事業	30		262,000	261,900	262,000	道路整備の推進に関する国等への要請行動等	B	1
4 道路新設・拡幅改修整備事業	30		288,595,000	237,099,734	175,501,000	市道の新設整備及び拡幅改修の整備	B	1
5 狭あい道路解消事業	30		130,430,000	148,486,159	131,120,000	建築基準法第42条第2項に指定された道路等において後退した部分の敷地を道路用地として寄附を	A	
6 負担金 多摩川整備促進協議会	30		15,000	15,000	15,000	多摩川の整備促進運動を推進し治水・水害防止・流域住民の安全と産業経済の発展に寄与する。	B	1
7 既設道路改良整備事業	30		641,407,000	568,860,124	782,346,000	老朽化した市道の改良整備及び無電柱化の推進	B	1
8 用排水路整備事業	30		63,000,000	59,397,880	51,252,000	用排水路の維持管理及び補修更新	B	1
9 私道整備事業	30		1,374,000	810,000	0	私道整備事業	B	1
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,203,483,000	1,094,658,557	1,140,496,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	067	道路等の適正な維持管理				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	都市整備部 管理課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備			
めざす姿	道路や橋梁などが、予防保全の管理や市民・事業者との協働により、長期にわたり安全な機能が確保され、市民が道路等を安全で快適に通行することができています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	611,111,000	626,399,000	584,460,000			
国庫支出金	2,827,000	7,700,000	3,360,000			
都支出金	3,375,000	3,225,000	3,225,000			
市債	0	0	0			
その他	0	200,000	12,500,000			
一般財源	604,909,000	615,274,000	565,375,000			
予算現額	593,241,000	645,158,000	0			
決算額	552,375,468	602,146,636	0			
国庫支出金	2,827,000	7,000,000	0			
都支出金	3,673,000	2,076,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	303,000	0			
一般財源	545,875,468	592,767,636	0			
執行率	93.1	93.3	0.0			
(人件費)						
職員数	22.70	21.95	0.00			
職員人件費	174,356,166	172,485,163	0			
嘱託員数	0.00	1.00	0.00			
嘱託員人件費	0	3,125,886	0			
(間接経費)						
間接経費	11,411,499	12,382,658	0			
総コスト	738,143,133	790,140,343	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移	実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
社会基盤の保全・整備に満足している市民の割合	57.9	実績	56.5	-	-	-	60
	%	達成率	94.2	0.0	0.0	0.0	
道路補修の苦情件数	1,333	実績	1,570	-	-	-	1,280
	件	達成率	122.7	0.0	0.0	0.0	
府中まちなかきからの登録団体数(道路)	8	実績	11	-	-	-	18
	団体	達成率	61.1	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

安全で快適な道路の維持管理をしていくためには、事業を継続していく必要がある。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	道路施設の適切な維持管理を行った。老朽化対策と予防保全の管理を進める施設点検を行った。 道路台帳については、認定、区域変更、廃止の箇所について更新を行った。 インフラマネジメント計画を改定した。 道路等包括管理事業（北西地区）の試行に着手した。			
達成できていない点	試行的に実施した道路等包括管理事業（北西地区）の評価及び道路等包括管理事業の本運用に向けた検討を進める必要がある。 大型構造物の点検を進める必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

道路台帳については、道路法に基づき、認定、区域変更及び廃止により市道が変化した箇所について道路台帳平面図及び道路台帳調書の更新を行った。地籍調査については、国土調査法に基づき、官民境界等先行調査により平成30年度までに0.35k㎡行った。法定外公共物の維持管理では、除草、防草シート設置及び管理柵の設置などを行った。
 予防保全の管理を進めるため、平成26年度から平成27年度にかけて、幹線市道の路面下空洞調査及び対応工事を行った。平成27、28年度で橋梁点検を行い、平成29年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成30年度は、府中駅北口、南口のベデストリアンデッキの点検を行った。
 道路の舗装、街灯、カーブミラー、街路樹、防護柵等の適切な維持管理を行った。
 インフラマネジメント計画については、平成26年度から府中まちなかきさらや道路等包括管理委託などを開始した。また、平成28年度は今後の道路等包括管理事業の地域拡大や業務体系について、周知及び理解を得るよう市内事業者向けに説明会を行った。公共施設とインフラを総合的かつ計画的に管理する公共施設等総合管理計画を策定した。街路樹についての今後の管理方針を策定した。平成29年度は道路等包括管理事業の推進方針の作成、府中市インフラマネジメント白書（2017年度）の作成、府中市インフラマネジメント計画の改定に伴う検討協議会の開催を行った。平成30年度は府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の策定、市民への周知のためのシンポジウムの開催を行った。
 受益者負担の適正化を図るため、道路占用料の見直しを行った。（平成30年度から適用）

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるために、点検・調査により、施設現状の把握を行い、中長期的な視点から修繕等の計画を立て、マネジメントする必要がある。
 道路等包括管理事業については、市内事業者が参入しやすい仕組みづくりが必要である。
 道路占用料については、本市の土地評価や占用物件の実態に合わせ、今後も見直しを検討していく必要がある。

今後の展開

道路施設の点検を進め、中長期的な修繕や更新の計画を策定し、適切な管理運営費用を算出するなど、維持管理費の削減と安全・安心な施設管理を目指す。
 各施策を推進するとともに道路等包括管理事業については、将来的には市全域への拡大に向け推進していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
道路等維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや道路施設の維持補修 街路樹などの定期的な剪定や除草 府中駅ペDESTリアンデッキの点検 府中まちなかきからの広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや道路施設の維持補修 街路樹などの定期的な剪定や除草 大型の標識・構造物の点検 府中まちなかきからの広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや道路施設の維持補修 街路樹などの定期的な剪定や除草 橋梁の点検 府中まちなかきからの広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや道路施設の維持補修 街路樹などの定期的な剪定や除草 橋梁（跨線橋）の点検 府中まちなかきからの広報活動
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 管理課				
事業種別				
主要な事務事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民による通報や職員によるパトロールで気付いた道路施設の維持補修を行った。 街路樹の剪定及び除草を実施した。 府中駅ペDESTリアンデッキの点検を行い、健全性と劣化状況を確認した。 広報、HPで周知を図った。 			
4か年事業費計(単位:千円)				
1,349,077				
インフラマネジメント計画推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 府中市インフラマネジメント計画の改定及び施策の進行管理 道路等包括管理事業（北西地区）の実施 インフラマネジメントシンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の施策の進行管理 道路等包括管理事業（北西地区）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の施策の進行管理 道路等包括管理事業（北西地区）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市インフラマネジメント計画（2018年度）の施策の進行管理 府中市全域にて道路等包括管理事業の実施
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 管理課				
事業種別				
主要な事務事業	<ul style="list-style-type: none"> 府中市インフラマネジメント計画（2018年度）を策定し、施策の進行管理を開始した。 今年度から、道路等包括管理事業（北西地区）を開始した。 市民への周知のためのインフラマネジメントシンポジウムを開催した。 			
4か年事業費計(単位:千円)				
736,172				
法定外公共物管理事業	<ul style="list-style-type: none"> 除草などの定期的な維持管理 法定外公共物活用検討調査 払下げ案内実施 	<ul style="list-style-type: none"> 除草などの定期的な維持管理 払下げ案内実施 	<ul style="list-style-type: none"> 除草などの定期的な維持管理 法定外公共物活用検討調査 払下げ案内実施 	<ul style="list-style-type: none"> 除草などの定期的な維持管理 払下げ案内実施
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 管理課				
事業種別				
主要な事務事業	<ul style="list-style-type: none"> 除草や防草シートの設置等を行った。 法定外公共物活用検討に伴う基礎資料（1/12ブロック）を作成した。 平成28年度調査結果に基づき払い下げ案内を実施した。 			
4か年事業費計(単位:千円)				
69,812				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 地籍調査事業	30		4,500,000	4,241,000	4,735,000	国土調査法に基づく土地の所有者・面積・地目・地番の調査及び土地の境界と面積を測量する。	B	3
2 道路等維持管理事業	10		597,501,000	573,546,020	550,942,000	道路等の維持管理	B	1
3 法定外公共物管理事業	30		23,053,000	23,846,512	11,872,000	法定外公共物の維持管理	B	1
4 インフラマネジメント計画推進事業	30		345,000	513,104	15,911,000	インフラ管理の方針として定めた「インフラマネジメント計画」を着実に推進していく事業である。	A	
5 緊急整備工事業	30		1,000,000	0	1,000,000	災害や突発的な事故等が発生した際の緊急対応	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			626,399,000	602,146,636	584,460,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	068	下水道施設の機能確保				
総合計画	基本目標	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主担当部課名	都市整備部 下水道課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備			
めざす姿	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策・地震対策等が計画的に行われ、市民の快適な生活環境が確保されています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	2,954,562,000	3,021,811,000	2,720,887,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	355,000,000	453,000,000	286,000,000			
その他	1,814,095,000	1,818,048,000	1,771,699,000			
一般財源	785,467,000	750,763,000	663,188,000			
予算現額	2,884,972,000	2,878,498,000	0			
決算額	2,611,132,909	2,542,963,395	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	269,300,000	286,000,000	0			
その他	1,674,931,149	1,664,335,687	0			
一般財源	666,901,760	592,627,708	0			
執行率	90.5	88.3	0.0			
(人件費)						
職員数	15.98	15.98	0.00			
職員人件費	122,752,352	125,572,342	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	4,991,533	4,796,781	0			
総コスト	2,738,876,794	2,673,332,518	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
老朽化対策工事の管きよの延長	7.6	実績	8.1	-	-	-	14
	km	達成率	57.9	0.0	0.0	0.0	
地震対策工事のか所数	497	実績	542	-	-	-	570
	か所	達成率	95.1	0.0	0.0	0.0	
雨水浸透ますの設置個数	66,433	実績	69,089	-	-	-	59,900
	個	達成率	115.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

老朽化対策工事の管きよ延長については、予定施工箇所は実施できている状況であり、今後も長寿命化計画等に掲げる事業計画の達成に向け事業を推進する。
地震対策工事についても、施工予定箇所は実施できている状況であり引き続き地震対策事業を推進する。
雨水浸透ますの設置については、事業者及び市民への周知が実績値を押し上げている。

4 施策の進捗状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進捗状況	目標達成に向け順調に進捗している			
達成できている点	雨水浸透ます設置個数については、事業者及び市民周知の実施により、目標値を達成している。			
達成できていない点	なし。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

下水道管の調査・清掃は、平成19年度以降、市内全域の調査結果に基づき清掃作業を計画的に行っている。
 平成30年度は、下水道管さよの目視調査を13,727箇所実施し、清掃作業を8,919.4m実施した。また、損傷箇所などの内面被覆工事を合計30.5m実施したほか、管更正工事等を371.4m実施した。
 総合地震対策計画に基づき、耐震化工事を45か所施工した。
 ポンプ場施設の維持管理についても年間委託し、安定した運転管理に努めた。
 以上の取組により、下水道施設の機能は確保されている。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

今後は、下水道マスタープランに掲げる個別の施策における確実な実施と、事業に対応する財源の確保及び事業を実施するための管理体制の確保が課題である。
 また、総務省から示された下水道事業の公営企業会計化に向けての準備が必要である。

今後の展開

下水道マスタープランに基づき、引き続き、下水道施設の長寿命化対策及び地震対策事業を確実に進めていく。
 また、総務省の要請に従い、下水道事業の令和2年4月からの公営企業会計の適用に向けて、準備を行っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
下水道運営管理事業	下水道使用料徴収事務 雨水浸透施設設置指導 公共下水道水質検査業務 工場排水水質測定分析試験業務 流域下水道維持管理負担金事務 公営企業会計推進事業 下水道プラン策定	下水道使用料徴収事務 雨水浸透施設設置指導 公共下水道水質検査業務 工場排水水質測定分析試験業務 流域下水道維持管理負担金事務 公営企業会計推進事業 下水道プラン策定	下水道使用料徴収事務 雨水浸透施設設置指導 公共下水道水質検査業務 工場排水水質測定分析試験業務 流域下水道維持管理負担金事務 公営企業会計による事務	下水道使用料徴収事務 雨水浸透施設設置指導 公共下水道水質検査業務 工場排水水質測定分析試験業務 流域下水道維持管理負担金事務 公営企業会計による事務
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課	当初計画どおり、各事業及び業務を実施した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	7,485,896			
下水道維持管理事業	管渠調査 管渠清掃 産業廃棄物（管渠清掃汚泥等）の処理 ポンプ場施設の保守及び補修工事 下水道施設耐震化工事 都市下水路補修工事	管渠調査 管渠清掃 産業廃棄物（管渠清掃汚泥等）の処理 ポンプ場施設の保守及び補修工事 下水道施設耐震化工事 都市下水路補修工事	管渠調査 管渠清掃 産業廃棄物（管渠清掃汚泥等）の処理 ポンプ場施設の保守及び補修工事 下水道施設耐震化工事 都市下水路補修工事	管渠調査 管渠清掃 産業廃棄物（管渠清掃汚泥等）の処理 ポンプ場施設の保守及び補修工事 下水道施設耐震化工事 都市下水路補修工事
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課	当初計画どおり、管渠内調査及び清掃、各工事等を実施した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,448,764			
下水道新設改良事業	下水道管布設工事 都道築造工事に伴う下水道管布設工事 長寿命化計画に基づく施設更新工事	下水道管布設工事 都道築造工事に伴う下水道管布設工事 長寿命化計画に基づく施設更新工事	下水道管布設工事 都道築造工事に伴う下水道管布設工事 長寿命化計画に基づく施設更新工事	下水道管布設工事 都道築造工事に伴う下水道管布設工事 長寿命化計画に基づく施設更新工事
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
都市整備部 下水道課	下水道布設工事については、道路築造工事の進捗に合わせて実施し、長寿命化工事については、当初計画どおり実施した。			
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,828,196			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 下水道運営管理事業	10		1,918,041,000	1,662,696,778	1,906,258,000	下水道事業の管理運営に必要な事務事業	B	1
2 下水道維持管理事業	10		449,632,000	372,212,684	429,604,000	下水道維持管理事業	B	1
3 下水道新設改良事業	10		654,138,000	508,053,933	385,025,000	下水道新設改良事業	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			3,021,811,000	2,542,963,395	2,720,887,000			